

吉野町橋梁長寿命化修繕計画

1. 背景・目的

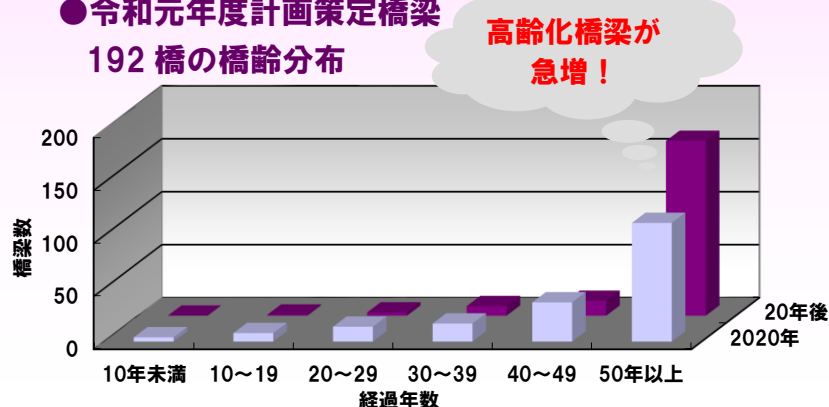
長寿命化計画を更新しました！！

背景① 高齢化橋梁の増加に伴う今後の橋梁修繕・架替えに係るコストの増加

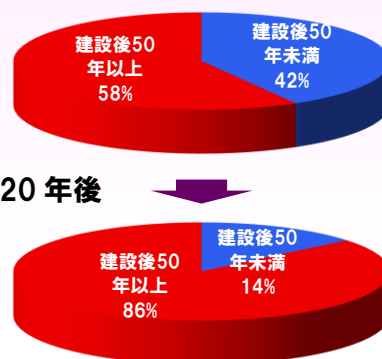
○吉野町が管理する橋梁は高度経済成長期に建設されたものが多く、近い将来、急速に高齢化橋梁が増加します。一般的には、建設後 50 年を超過した橋梁を高齢化橋梁と呼んでおり、20 年後には全体の 86%※を占めることになります。

○高齢化橋梁の増加に伴い、高齢化橋梁の安全性や信頼性を確保するためには、橋梁の修繕・架替えに要する経費の増加が見込まれます。

●令和元年度計画策定橋梁 192 橋の橋齢分布



●高齡化橋梁の分布の推移 2020 年



※上記の橋梁数及び割合は、令和元年度計画策定橋梁 192 橋によるものです。

背景② 平成 24 年度長寿命化修繕計画の見直しの必要性

○平成 24 年度では、それまで点検を行っていた 15m 以上の橋を対象に長寿命化修繕計画を策定しておりました。しかし、小規模な橋に対しても計画的な維持管理を行うことは必要であり、新たに全管理橋梁を対象とした維持管理計画の更新を行う必要があります。

背景③ 今後の厳しい財政状況

○現下の経済情勢による今後の税収動向の不透明さや少子高齢化の進展による社会保障費の増加などにより、今後、より一層厳しい財政運営を余儀なくされます。

目的：安全で安心できる道路橋の確保、コスト縮減及び必要予算の平準化

○安全で安心して利用できる道路ネットワークを確保するため、橋梁点検により管理橋梁の現状を把握し、計画的かつ予防的な修繕を実施することによって橋梁の長寿命化を図ります。

○橋梁の長寿命化を図りつつ、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費の縮減及び予算の平準化を目的とした橋梁長寿命化修繕計画を策定します。

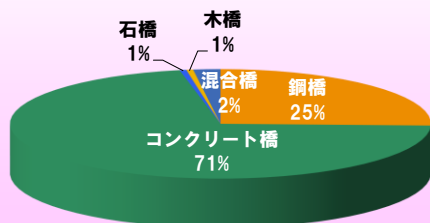
2. 管理橋梁の特色

○橋梁長寿命化修繕計画を策定するにあたっては、管理橋梁の特色を把握し、それに見合った計画を立てることが重要です。

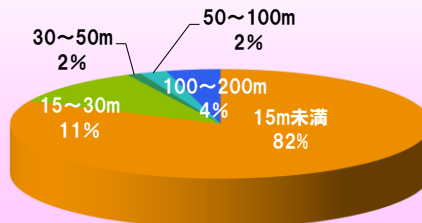
○管理橋梁のうち、令和元年度計画策定橋梁 192 橋については、以下の特色を有しています。

- コンクリート橋（桁がコンクリート製の橋梁）が大半を占めています。
- 橋梁の長さが 15m 未満の小規模な橋梁が大半を占めていますが、吉野川に架かる 100m 以上の長大橋も存在します。
- 特殊な構造を有する橋梁（トラス橋や人道吊橋など）が 5 橋存在します。

●橋梁の種類別の分布



●橋梁の長さ別の分布



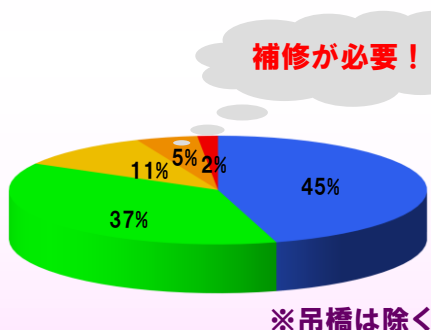
3. 橋梁点検の結果

○橋梁長寿命化修繕計画を策定するにあたっては、橋梁点検を実施し、管理橋梁の現状を把握することが重要です。

○橋梁点検の結果を踏まえて、橋梁の健全度を 100 点満点で評価しました。

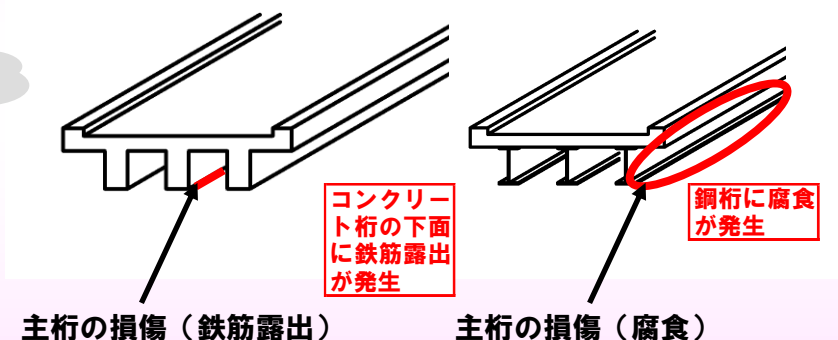
○管理橋梁のうち、令和元年度計画策定橋梁 192 橋については、大半が健全な状態でしたが、一部の橋梁で補修が必要な損傷が確認されました。

●令和元年度計画策定橋梁
192 橋の健全度分布



凡例	橋梁の状態
■ : 100~80	良好
■ : 80~60	
■ : 60~40	
■ : 40~20	
■ : 20~0	悪い

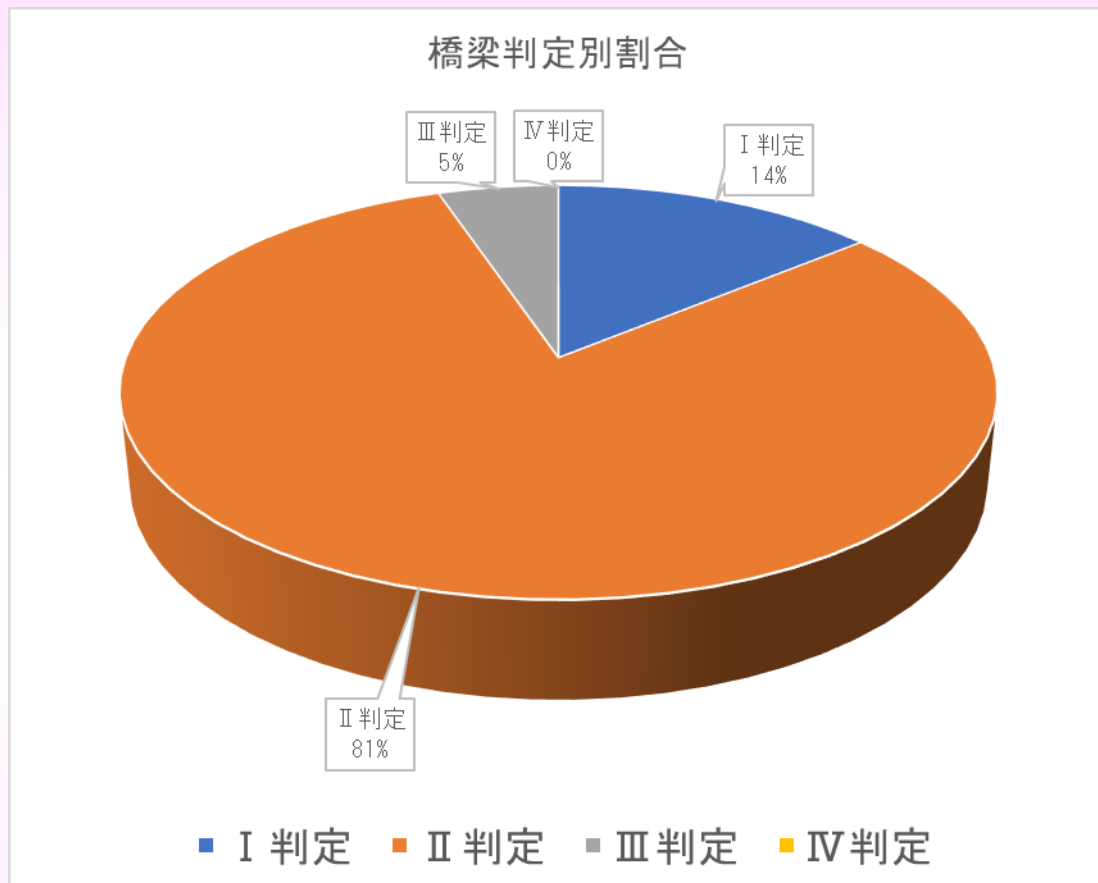
●補修が必要な損傷



4. 老朽化における基本方針

○ I～IV判定割合

吉野町管理橋梁の定期点検				令和3年度時点
I判定	II判定	III判定	IV判定	全橋梁数
27	155	10	0	192
14%	81%	5%	0%	100%



優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図れるよう必要な対策を講じます。

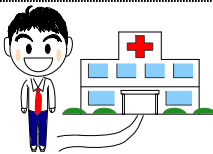
対策は、第三者に対する安全性に著しく影響を及ぼし、緊急的に対応が必要な損傷がある橋梁を優先的に実施します。

速やかに補修を行う必要がある区分「IV」または「III」と判定した橋梁については、損傷箇所数や損傷程度を考慮し、優先的に対策を実施します。次いで、「II」と判定した橋梁のうち、将来的に第三者被害の影響が想定されるものや今後も劣化の進行が想定されるものなど、早期に対策が必要な橋梁について対策を実施します。

5. 橋梁長寿命化とは・・・

- 従来は、重大な損傷が見つかったから大規模で高価な修繕（事後保全）を行っていました。
- 人間が定期的に検診し、軽症時に治療することで重症化を防ぐとともに治療費も安価として
いるように、橋梁も定期的に点検し、損傷が軽微な段階で修繕すること（予防保全）によっ
て長寿命化を図るとともに修繕費を安価とすることが可能となります。

●予防保全の重要性（病気の症状との対比）

小 日常生活への影響 大	例) 人間		例) 床版		小 コスト・社会的影響 大
	症状	処置	状態	対策工法	
	健康	健康診断	ひびわれなし (健全)	定期点検	予防保全
					
	風邪の気配 (軽症)	うがい	1方向ひびわれ (損傷度：小)	ひびわれの修復	事後保全
					
	風邪引き (やや重症)	風邪薬	2方向ひびわれ (損傷度：中)	床版の補強	
					
	ダウン (重症)	入院・手術	ひびわれ貫通・角落ち (損傷度：大)	床版の交換	
					

6. 橋梁長寿命化修繕計画の策定

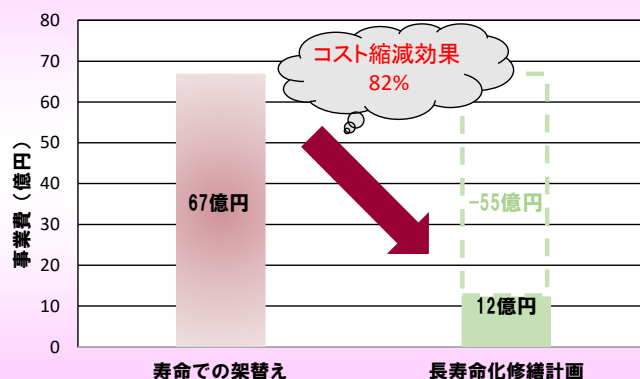
吉野町橋梁長寿命化修繕計画策定の基本方針

- “安全で安心できる道路橋”を確保するため、補修が必要な損傷が発生している橋梁の対策を最優先に実施します。
- 各橋梁の社会的な重要性や損傷の程度を総合的に評価し、対策の優先順位を付けることによって、平準化した予算計画を作成します。

7. 橋梁長寿命化修繕計画による効果

○橋梁長寿命化修繕計画に基づいて適切な時期に対策を実施することによって、寿命での架替えを実施した場合と比べて、**約 8 割のコスト削減**が見込まれます。

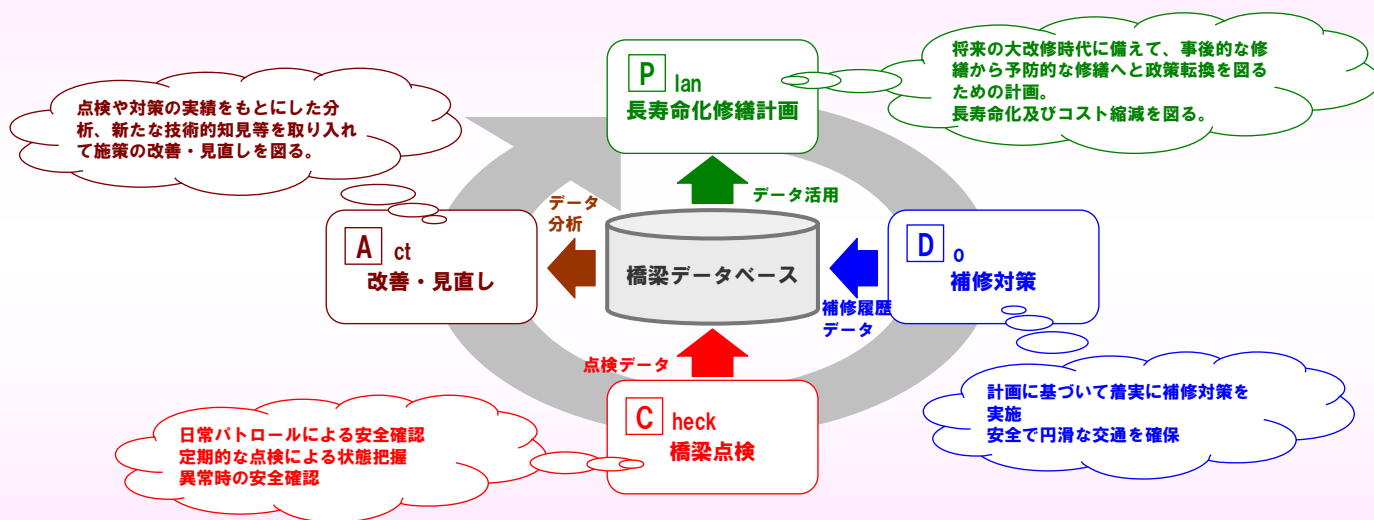
●今後 50 年間の総事業費の比較 (令和元年度の試算結果)



8. 今後の維持管理体制

○吉野町では、今後、下記に示す PDCA サイクルによる維持管理体制を構築し、橋梁の長寿命化及び維持管理コストの削減に努めていきます。

●今後の維持管理体制 (PDCA サイクル※)



※PDCA サイクルとは、事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つの考え方であり、業務の継続的な改善を図るのに効果的です。橋梁の維持管理においても、これを応用することで継続的な維持管理体制の構築を目指します。

9. 新技術等の活用方針

○定期点検の効率化や高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減などを図るために新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログなどを参考に活用を検討。

○令和５年度～令和１０年度において、施設の点検・修繕等に対し、１割の施設で新技術を活用することを目指す。

上記を踏まえ、2028年までの５年間に100万円のコスト縮減を目指します。

10. 費用縮減方針

○定期点検結果から得られた損傷状況をふまえて、予防保全段階（Ⅱ）判定箇所についても修繕等を検討することで、高コスト化を回避し、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減を図ります。

○迂回路がある、利用者が少ないなど集約化、撤去等の可能性がある橋梁について、交通状況や地域の意向をふまえ、令和５年度～令和１０年度の間には１橋程度の集約化・撤去、機能縮小を目標とし、将来の維持管理と修繕にかかる費用の削減を目指します。

上記を踏まえ、2028年までの５年間に50万円のコスト縮減を目指します。

11. 長寿命化修繕計画策定部署及び問合せ



吉野町 暮らし環境整備課 （香東庁舎）

吉野町大字香東 901 番地の 3 TEL : 0746-39-0402 FAX : 0746-35-7535